

目 次

第1章 第179回国際研修

「少年司法とその展開－非行少年及び若年犯罪者に対する効果的な諸方策」

<客員専門家の論文>

若年成人犯罪者の社会復帰

ガーナー・クランシー博士

(オーストラリア シドニー大学ロースクール犯罪学准教授) …………… 3

安全保障及びテロ対策に関連した児童に対する暴力と児童のための司法

ハンナ・ティーフェングレイバー氏 (国連薬物・犯罪事務所 専門家) ……………13

<研修参加者の論文>

シンガポールの若年犯罪者に対する効果的な社会復帰・社会再統合支援の実践

テイ・ヤン・リー・アンジェリン (シンガポール) ……………27

第2章 第24回汚職防止刑事司法支援研修

「汚職犯罪収益の特定、追跡、保全、没収及び財産回復における課題と対処」

<研修参加者の論文>

モルディブ：汚職による犯罪収益を回復する際の課題と解決策

アミナト・シャマ・ナシール (モルディブ) ……………35

第3章 第180回国際高官セミナー

「被疑者及び被告人並びに犯罪被害者の法律扶助 (Legal Aid) の促進」

<研修参加者の論文>

ベトナムの刑事司法における法律扶助

ルオン・ティ・ヴァン (ベトナム) ……………45

第4章 第2回包摂的社会研修

「物質使用障害のある犯罪者の社会復帰支援」

<研修参加者の論文>

物質使用障害のある犯罪者の治療と更生の支援におけるエジプト検察の役割

アフメド・マフムード・アブデルバリー・ハモウダ（エジプト）……………55

第5章 第181回国際研修

「国境を越えた組織犯罪への対策」

<研修参加者の論文>

ブラジルの国際的な組織犯罪対策：CATRAPO（薬物取引）、MENSALINHO（収賄）及びダイヤモンド密輸事件の分析

ヴィニシウス・アレクサンドル・フォルテス・デ・バロス（ブラジル）……………65

第6章 特別掲載資料

テロ事件の被害者及び証人の保護のためにどのような法的・組織的枠組みがあるかーブルキナファソ、ニジェール及びセネガルの実例

マーマネ・ローワル・バリー・ママドゥ（ニジェール）、

トンジョア・サニャン（ブルキナファソ）、

ジブリル・アブドゥ・ムッサ（ニジェール）、

ポール・ダミバ（ブルキナファソ）、

ドウドゥ・シセ・ディウフ（セネガル）……………81